

図書館からのお知らせ

*リサイクルブック開催

10月31日(土)~11月5日(木)

今年のちっちゃな発表会に合わせて、図書館前の廊下に本を並べます。図書館の除籍本や、利用者のみなさんからの寄贈本、期限の過ぎた雑誌など、自由に持ち帰ることができます。掘り出しモノがあるかもぜひご利用ください。

*夜の図書館でおはなし会
ナイトライブラリーにおでかけください

秋の夜長、今年も「おはなしの会」のみなさんによる、おはなし会を楽しみましょう。小学生から大人までが対象です。

11月12日(木)・20日(金)
両日とも 19:15~20:00

あなたの本との出会いをお手伝い……図書館便り

BOOK No.49

編集＝山形村図書館

防災クッキングに挑戦

空き缶ごはんに四苦八苦!

9月の防災月間に合わせて、災害時でも役立つ「防災クッキング」の講座を開きました。9月19日(土)トレーニングセンターの北側駐車場で、親子17人が体験しました。当日は風があり、一抹の不安が胸をよぎります。うまくいくかな? ドキドキ……



チャレンジするのは「空き缶でご飯を炊こう」とポリア袋で肉じやがをつくる「う」の二つです。まず、ポリア袋に肉じやがの材料を入れて、大きな鍋で湯せんします。具材をよくもみ、空気を抜いてポリア袋の口をぎゅっと結ぶのがポイント。あとはお鍋に

お任せです。

いよいよメインイベント、空き缶でご飯を炊きます。かまど用に穴をあけたアルミの空き缶に、米と水を入れた空き缶をのせ、短冊状に切った牛乳パックを燃料にするのです。あらかじめ実験したところ、25分くらいでホカホカのご飯が炊けたので、きつとうまくいくはずと楽観していたのですが……。火の勢いが強すぎて、かまどにした缶がぐにやりと変形したり、上の缶が倒れて米がこぼれたり、火がなかなか燃え続けなかったり、アクシデント続出!

ひゃあ、いったいどうなってしまうのか!? それでも協力して作業すると40分。うまく炊けた人もいれば、芯のあるご飯になった人も



いしましたが、成功したグループのご飯を味見させてもらい、肉じやがと一緒に味わいました。

本日の災害時には、気が動転してなかなかうまくいかないことも予想されます。平時にいろいろ試してみることを大切さを痛感しました。

……大成功のグループは、「おうちのより、給食のよりおいしいご飯だった!」そうですよ。

『電波の歴史展』のお知らせ

10/21(水)~11/5(木)

今では、私たちの生活になくてはならない電波ですが、どのようにして発展してきたのでしょうか? 世界最初のラジオコンカーから、最新機器まで、珍しい展示物を見ながら電波について学べます。



おすすめ新着本紹介

『しょうぼうしのくまさん』
フイービ・ウォーシントン(福音館)



しょうぼうしのくまさんは、ぴかぴかのあかい消防車にのって出動します。木からおりられなくなつたねこを助け、納屋の火を消して……。子どもたちに長く愛されている「くまさん」シリーズの続編ができました。

『おひめさまになつたワニ』
ローラ・エイミー・シュリッツ
(福音館書店)



姫の将来を心配する王様とおさきさま様が考えた勉強や運動など、コーラ姫の毎日はやらなくてはいけないことだらけ。そんな姫を助けるため、やんちゃなワニが

やってきて……。愉快なワニの活躍で、姫は勇気を出してやりたいことを言葉にします。

『珪藻美術館』 ちいさな・ちいさな・ガラスの世界
奥修(福音館書店)



珪藻(けいそう)はガラスの殻をもつ藻の仲間です。その小さな小さなガラスの殻を並べて作る、世界一ちいさく美しい「ガラスアート」ができるまでを描きます。『人生で大事なことはみんなゴリラから教わった』

山極寿一(家の光協会)



著者は、40年にわたってアフリカのジャングルに分け入り、野生のゴリラと付き合ってきた。世界的ゴリラ研究者が、ゴリラを学ぶことで見えてきた「人間の生き方」について伝えます。

『農のひと』
金井真紀(左右社)



「肥料も農薬もいらん。地球を汚さず儲かる農業じゃ!」農の伝道師・道法正徳はどのようにして独自の農法にたどり着いたのでしょうか。道法スタイルを実践する生産者たちを訪ねたレポートも紹介します。